

# 福田富昭会長と日本レスリング協会の 18 年

(2003 年～2004 年)

## 2003 年

【3月15日】協会理事会で笹原正三会長が勇退を表明。福田富昭・専務理事の**会長就任**が承認された。22日の評議員会で高田裕司・専務理事が決まり、**福田・高田体制**がスタート。

【4月3日】日本オリンピック委員会（JOC）選手強化副本部長だった福田会長が、**選手強化本部長**に昇格就任。

【5月23日】東京・国立スポーツ科学センター（JISS）で、男女のアジア選手権と世界選手権代表を中心に約100選手が参加して**初の男女ナショナルチーム合同合宿**を実施。

【6月24日】東京・明治記念館で新執行部の披露パーティー「**アテネの空に日の丸を！**」を開催。政財界から約500人が集まり、福田・高田体制の門出を祝った。



▲福田体制のスタート

【9月22日】日本オリンピック委員会（JOC）の理事会で、翌年のアテネ・オリンピックの日本選手団**総監督に福田会長の就任**が実質的に決定。

【10月11～12日】東京・代々木競技場第2体育館で**女子ワールドカップ**を開催。日本は最終戦で米国に敗れて2位。

【10月13～19日】国立スポーツ科学センター（JISS）でギリシャを除くワールドカップ参加国の選手による**女子の世界合宿**を実施。世界合宿は、日本協会が世界の女子レスリングの普及と発展を目的に2002年7月に初めて開催し、これが2回目。

【12月22日】東京・代々木競技場第2体育館で行われた天皇杯全日本選手権に、**天皇皇后両陛下が御来場**。国体で両陛下が御来場されたことはあるが、全日本選手権では初の天覧試合。元プロ野球選手・監督でアテネ・オリンピック野球監督の長嶋茂雄氏がプレゼンターを務めた。



▲レスリング界初の天覧試合

## 2004年

【1月1日】茨城・大洗町で大みそかから男女合同の年越し合宿を実施し、元旦は寒中水泳でオリンピック・イヤーをスタート。

【5月22～23日】東京・青少年総合センターで女子のアジア選手権を開催。アテネ・オリンピック代表4選手を含め5選手が優勝。

【6月24日】日本オリンピック委員会（JOC）の理事会で、アテネ・オリンピックの開会式の旗手に浜口京子選手が決定。レスリング選手が開会式で旗手を務めるのは、1956年メルボルン大会の笹原正三（日本協会前会長）以来2人目。



▲先頭を切って寒中水泳へ向かう福田会長（中央）

【7月3日】富山・春日温泉で合宿中の全日本女子チームが滝打ち修行を実施。「心が清められ、煩惱が消えた」との声。

【7月7日】男子両スタイルの全日本チームが、戦国時代の武将が闘いにおもむく前にお茶で心を静めたことに習い、東京・裏千家今日庵で茶道と座禅の修行。平常心を学ぶ。

【8月6日】アテネ・オリンピックの男子代表チームが靖国神社へ参拝。富山英明強化委員長が金メダルを取った1984年ロサンゼルス大会の前に実施し、「金2・銀5・銅2」を獲得した縁起のよさにあやかっていたの実施。

【8月13日】アテネ・オリンピックが開幕。開会式で、旗手の浜口京子選手が513人の選手・役員の前頭立に立って行進。

【8月22～29日】アテネ・オリンピックのレスリング競技が行われ、女子2選手（吉田沙保里、伊調馨）が金メダルを取り、日本として1988年ソウル大会以来、4大会ぶりの金メダル獲得。男子でも2選手（田南部力、井上謙二）が銅メダルを取り、戦後のオリンピックで続いているメダル獲得の伝統を守った。



▲金メダル獲得の伊調馨を祝福する福田会長

【8月29日】アテネ・オリンピックが終了。福田富昭・強化本部長&総監督のもと、日本は全競技で過去最高の金メダル16個を含む37個のメダルを獲得。

**【9月30日】**東京・明治記念館でアテネ・オリンピックの祝賀会。政財界を含めて800人が代表チームの労をねぎらった。

**【10月8～9日】**東京・駒沢体育館で女子ワールドカップを開催。日本は5戦全勝で優勝。最終日は、日本テレビ系列で午後7時～8時54分のゴールデンタイムで放映され、関東地区の平均視聴率が8.8%、瞬間最高が14.6%をマークした(8時49分)。



▲会長になって初のオリンピックで金メダルを復活

**【12月31日】**さいたまスーパーアリーナで行われる「PRIDE」観戦のため、国際レスリング連盟(FILA)のラファエル・マルティニティー会長が来日。総合格闘技とリンクすることでレスリングの発展を目指す方針を確認。